児童に見られるつまずき

　大事なことを意識して聞き、そこから質問を見つけることができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　５Ｗ１Ｈを入れるなど、上手なインタビューのポイントに基づいて話したり聞いたりさせることで、大事なことを聞いたり、質問したりできるようにする。

指導事例集ｐ．１７

１　学年・単元名　　第１学年　きいて　しらせよう

『ともだちに、きいてみよう』（話すこと・聞くこと）

２　単元目標

　　　大事なことを意識して聞き、そこから質問を見つけることができる。

３　本時の目標

　　インタビューのしかたを理解して、もっと知りたいと思うことについてたずねたり、たずねられたことについて必要なことを思い出して答えたりできる。

参考：板書

４　本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点**太字：つまずきに対する手立て** |
| １　単元目標と本時の目標を確認する。　　　めあて：いんたびゅーで　だいじなことを　きいたり　こたえたり　しよう　　　２　２人組でインタビューし合う。テーマいま、いちばん、たのしいとおもっていることはなんですか　　思考・判断を促す課題：上手な　インタビューを　続けよう３　インタビューの結果をワークシートに記入する。ワークシート②　使用４　グループに分かれて、インタビューの様子を交流する。５　学習のまとめと本時の振り返りを発表する。 | ・本単元で学習するめあて達成に向けて、本時の学習をおこなうことを意識させる。ともだちに　きいて　みんなに　しらせようりたい。・２人組は、話したり聞いたりする力を考慮して組んでおく。・ワークシートを使って、インタビューの内容を確認させる。**《インタビューする側》****・相手の答えを聞いて、いつ・どこで・だれと・どのようにしているのかをたずねると、つなげられることを感じさせる。****《インタビューを受ける側》****・一言で答えるのでなく、なるべく詳しく答えるよう心がけると、質問がつなげやすいことを感じさせる。**・ワークシートには、なるべく簡潔な言葉で記入するよう声を掛ける。・ワークシートをもとに発表する。・８つのグループに分ける。**・インタビューをした感想を発表させ「上手なインタビュー」の認識を確認する。**・口頭で振り返りを行う。 |